

ファイバースタウト

アルミ手摺の支柱固定等を目的に開発した、全く新しいポリマーセメントグラウト材です。

■特長

- エポキシ樹脂系グラウトと同様に支柱溶接等が不要です。また、非常に安価です。
- “一材型(完全プレミックス)”製品であるため、安定した品質が得られます。
- 一回充填が可能で、速硬型セメントを用いていますので、早期固定が可能です。
- 施工時期に応じた調合設定(標準、夏期、冬期)でオールシーズン可使用時間を30分程度に調整しています。

■用途

手摺支柱の固定

■性状

主成分:特殊速硬型セメント・特殊繊維・特殊骨材・粉末樹脂等
外観:灰色粉状

■調合

調合比	ファイバースタウト 10 kg (1袋) 清水 1.70 L (1.65 ~ 1.75) 夏期(25℃以上)のみ最大1.80Lまで可能
練り上り容量	約 5 L
施工箇所数	約 20 箇所 (コンクリートコア:50×60mm・深さ110mm、鞆管:40×20mmを100mm定着させた場合)

■施工方法

- I. コア抜き部の確認・清掃
水溜りは、スポンジ等で除去・乾燥させて下さい。
- II. 吸水調整材の塗布
ファイバースタウト施工前日にスタッコプライマー#3の2倍希釈液を塗布して下さい。
- III. 手摺ユニットを設置
- IV. ファイバースタウト施工
攪拌機(回転数1000MIN-1以上)で2分間攪拌して下さい。また、練り混ぜた材料は、30分以内に充填してください。(再練り不可)
- V. 養生
材料が硬化するまで人による振動や衝撃に注意し養生して下さい。



○施工上の注意

- 他の材料は、混入しないで下さい。
- 流し込み充填から硬化までの期間は気温5℃以上を維持し、凍結防止の為に適切な養生を行なって下さい。
- 直射日光や降雨・通風の激しい場所での施工は養生等に注意し行って下さい。

○保管上の注意

- 雨露を避けて湿気の少ない場所で保管下さい。

■性能比較一覧

項目	方法等	単位	ファイバースタウト		エポキシ樹脂系グラウト		
線膨張係数	JHS416、60°C～-20°C	1/°C	1.40×10 ⁻⁵		7.50×10 ⁻⁵		
圧縮強度	JIS A 1108	N/mm ²	位置	3時間	12.6	—	
				6時間	16.0	—	
				1日	33.6	—	
				3日	43.7	—	
				7日	55.7	50.0	
				28日	65.4	56.2	
圧縮 静弾性率	JIS A 1149	N/mm ²	位置	7日	2.02×10 ⁴	2.47×10 ⁴	
				28日	2.15×10 ⁴	2.55×10 ⁴	
直接 静弾性率	特殊治具と接合し 引張載荷	N/mm ²	位置	7日	3.96	—	
28日	5.05			—			
引張 静弾性率	JIS A 1149	N/mm ²	位置	7日	2.10×10 ⁴	—	
				28日	2.24×10 ⁴	—	
曲げ強度	JIS R 5201	N/mm ²	位置	7日	13.9	17.1	
				28日	16.1	19.0	
ひび割れ 抵抗性	水中(12H)→冷却(-10°C・ 12H)→加熱(70°C・12H)	サイクル	位置	試料	基盤	試料	基盤
		15	ひび割れの発生	無	無	—	—
耐引抜き力	鞘管に特殊治具を取付け 建研式接着試験器で 引抜き	吸水調整材	温冷繰返し	無	有	無	有
		2倍	kN	30	30	—	—
		3倍		30	30	—	—
		無		30	30	28.5	30
耐繰返し 水平荷重 (疲労)	PC鋼棒の支柱試験体を 特殊治具で疲労試験機に 固定し1470N/m相当の 荷重で3600サイクル載荷	サイクル	位置	試料	基盤	試料	基盤
		300～900	ひび割れの発生	無	無	無	無
		1800		無	無	無	有
		2700		無	無	無	有
		3600		無	無	無	有
最終	無	無	無	有			
衝撃強さ	JIS K 7111 プラスチックシャルビー 衝撃特性の求め方	kJ/m ²	位置	たて	よこ	たて	よこ
				2.32	2.11	0.78	1.01
防せい性	鉄筋コンクリート補修用防錆材の 品質基準(案)	発錆率%	位置	試料	基盤	試料	基盤
				47.6	7.6	63.6	5.0
手摺ユニット 水平荷重	BLT SR-05 手摺ユニット の水平荷重試験による ひび割れ観察	N/m	位置	試料	基盤	試料	基盤
		2200	ひび割れの発生	無	無	無	無
		2450		無	有	無	無
		2695		有	有	無	有
2950	無	無		無	有		
R部支柱 水平荷重	BLT SR-08 R部手摺支柱 の水平荷重試験による ひび割れ観察	N/m	位置	試料	基盤	試料	基盤
		1715	ひび割れの発生	無	無	無	有
		2450		無	無	無	有
2950	無	無		無	有		
支柱 衝撃荷重	45kgのショットバックを2m のひもで75cmから落下	衝撃	位置	試料	基盤	試料	基盤
		5回	ひび割れの発生	無	無	無	無

安全上の注意

■取り扱う際は、保護メガネや保護手袋等の保護具を着用して下さい。取り扱いは、顔・手・口等を洗浄して下さい。作業中、材料が目に入った場合は、ただちに水洗いをして、すみやかに医師の診断を受けて下さい。■セメントのアルカリ分が皮膚の炎症を起こす恐れがあります、炎症等の症状のある場合は、速やかに医師の診断を受けて下さい。■飲み込んだ場合は、直ちに吐かせ医師の診断を受けて下さい。■漏出した製品が河川・下水道へ流入すると環境を汚染する恐れがありますので充分注意して下さい。■廃棄する場合は、産業廃棄物として処理して下さい。詳細は、SDSを参照して下さい。

